

(本 社)	甲府市増坪町74	TEL055-241-3151	FAX055-241-8530
(営業所)	上野原市新田661	TEL0554-62-3321	FAX0554-62-3322

11月になり寒さを感じる季節となってきました。晩の冷え込みも目立ってきていますので体調管理には気を付けて頂きたいと思います。10月には消費税10%もスタートし、又台風19号により高速道路や国道20号の通行止など今後の動きにもしっかり目を向けていきたいと思ひます。今回はアルマイト処理について報告させていただきます。お手隙な時などに見て頂ければ幸いです。 営業所 山田

<編集者>  
 塚原 佳由  
 望月 博隆  
 小林 龍也  
 村松 貴  
 赤木 健三  
 山田 幸平

## 鋼種 Q & A ~ アルマイト処理について

### アルマイト処理とは。。。

アルマイト(陽極酸化処理)は、アルミニウムを陽極(+極)で電解処理して、人工的に酸化皮膜を生成させる表面処理のことです。酸素と結びつきやすく、空気に触れているととても薄い酸化被膜を作る「アルミニウム」。これによりサビにくく耐蝕性に優れていると言われてはいますが、この自然にできた酸化被膜は非常に薄いため、環境によっては化学反応を起こして、腐食してしまいます。そのため表面を保護するためにアルマイト処理という表面処理が必要になります。弊社でも、黒アルマイト、白アルマイト、硬質アルマイトなどお取扱ひしておりますので、お問い合わせなど頂けると幸いです。

### アルマイトと鍍金の違い。。。

製品の表面上に膜を作る表面処理ということで、「メッキ」と勘違いされる方もいらっしゃいますが、「アルマイト」と「メッキ」は全く別の処理になります。アルマイトは製品を陽極で電気分解しますが、メッキは陰極で分解し、電解液の金属イオンを還元析出して表面処理を行います。またメッキは製品の表面に順番に他の金属を乗せていくのに対し、アルマイトは元の製品の表面に成長被膜・下に浸透被膜を作り、上下に成長していきます。その為、下へ成長する浸透被膜の分、製品は肉やせします。寸法減少や、材質により皮膜成長に差があるため、寸法公差の厳しいもの等は、寸法変化量を考慮して、アルマイト前の寸法を設定する必要があります。また角部が鋭利になっていると、アルマイト処理後に皮膜が欠ける事も有るので処理後の取り扱ひには注意が必要です。

### 機能・特性

耐食性、耐摩耗性、装飾性など・・・

### 主な用途

装置部品、自動車部品、航空機など・・・

### 写真

左側、黒アルマイト、右側白アルマイト



★社長のワンポイント★先月災害有事ということでコメント致しましたが、台風15・19号で大きな被害が関東一円に甚大なる被害をもたらしました。当社の東側にある濁川も警戒水位を超えて、山城地区に避難勧告が始めて発令され、避難場所でもある環境センターには9世帯の家族が非難されたようです。台風の進路が山梨を少しそれたおかげで大災害にはなりませんでしたが、一昨年は中国・関西地方。今年は関東・東北一部とこの時期の台風がかなりの災害をもたらす様相。毎年大型台風がくるということ想定して当社も対応せねばと考えております。今回中央線・中央道・国道20号線と寸断され、お客様に荷物の入荷に対して納期遅延を出しており、ご迷惑をおかけ致しましたこと申し訳なく思っております。インフラの部分でここまで影響があったのは、雪害以来でございます。当社と致しても商品の遅延無きよう致す所存でございます。今後ともよろしくお願い致します。さて、ラグビーワールドカップでのJAPANの活躍は景気低迷している中で嬉しい一つの出来事として感動をもらいました。当社も地元社会人ラグビーの「クリーンファイターズ」の応援をこの何年か行っており、切断倉庫部には現役の選手でもある「トンガ王国」出身のボンギ・タブオシ・虎渡さんがおります。日本国籍も取り真面目で積極的に社員の皆さんはじめ地域の方々と関係を持ち、今では切断倉庫の全ての設備に関して完璧にマスターし、在庫に関してご理解し、中心的に仕事を行って、赤木リーダーの右腕として大活躍しております。来社されたときは大きな身体のボンギさんが現場で対応致しますので皆様よろしくお願い致します。また、「鋼魂」で次回の切断倉庫部担当の時は、「トンガ王国」の紹介をしていただこうと思っております。ラグビーワールドカップで活躍した「トンガ王国」是非多くの皆様にご存知いただきたいと思っております。

★国中エリア 塚原★国中エリアの動向ですが、半導体の稼働は依然として落ち着いていない状況ですが、「非常に悪い」と言う言葉は聞こえなくなりました。年内中はこのまま落ち着いた動きのようです。車、トラック関係では、車のプレス部品などは忙しく稼働しており、新たに設備投資を行っている企業もあるようですが、トラックについては稼働率が上がっているような話は聞こえきません。切削機械メーカーでは依然として厳しい状況が続いているようです。今年も残り2ヶ月となりました。現状のまま年を越すような状況は避けたいとの声も聞こえます。県内や国内のみならず、グローバルに景気上昇になるよう願うばかりです。

★郡内エリア 望月★郡内エリアの10月の動向ですが、半導体関係では、T社の山梨外注では以前変わらず厳しい状況で、仕事量も増えていないそうです。郡内の半導体ではT社のライバル会社から仕事きているそうです。内示で1月、2月納期で動かないと間に合わないそう製造しているとの事。T社の東北では動いている情報もあります。トラック関係では、I社が減産状態での横ばいで下がる傾向はないそうです。工作機械関係では、F社もM社も内製化で外注先に来る仕事もまちまちで孫会社はO状態です。食糧品関係は来年初めの納期が決まり、これから製造するそうです。全体的に減速感には相変わらずですが、動きがある所もあります。今後の状況がどうなるか?注意して見ていきたいと思ひます。

★上野原エリア 山田★10月の動向ですが、先月同様非常に厳しい状況です。半導体はリピート品に関しては注文が続いていますが、数の増減も有り安定していない状況です。エコカーやトラック関係は減少したまま横ばいで増加には中々ならないようです。好調に動いていた業種でも、経済状況の悪化に伴い先送りや見直しなどが続いています。東京、埼玉、神奈川方面も同じような状況が続いており、大手企業が多いエリアと言う事も有り下請け企業間での仕事の取り合ひが非常に激しいとお話も伺いました。消費税10%になり今後の景気状態も気になります。今後の動向に注視していきたいと思ひます。